

グラフィカルな表現法による複雑現象の理解

連続セミナー 第6回

科学技術に関するコミュニケーションにおいて、グラフィクスは非常に強力なツールの一つです。グラフィクスは、文字や数字だけでは表現が難しい知識や概念の理解を容易にするものであり、さまざまな分野において複雑な現象を理解するために欠くことのできないものとなっています。グラフィクスリテラシー教育研究センターでは、勉強会「グラフィカルな表現法による複雑現象の理解」を立ち上げ、定期的にセミナーを開催し、社会の中に散在する複雑現象の理解に対するグラフィクスの有効性について議論をしています。第6回セミナーでは、彫刻家で、神戸大学人間発達環境学研究科名誉教授であるJUN TAMBA先生（塚脇淳先生）にご登壇いただき、空間と彫刻における平面と立体の関係についてお話していただきます。



1. 日時 : 2021年9月29日(水) 17:00 ~ 18:30
2. 講演 : 空間と彫刻 (平面と立体、行ったり来たり)
3. 講演者 : JUN TAMBA先生 (塚脇淳先生)
(彫刻家、神戸大学人間発達環境学研究科名誉教授)
4. 参加費 : 無料
5. 実施形態 : ハイブリッドあるいは遠隔 (決定次第、登録頂いた方にお知らせいたします)

登録方法 : 右の参加登録ページへのリンクもしくは
QRコードから申し込み下さい。

問い合わせ先 : eng-glec@research.kobe-u.ac.jp

[参加登録ページ
へのリンク](#)



主催 : 神戸大学大学院工学研究科 グラフィックスリテラシー教育研究センター
共催 : 日本図学会 関西支部
神戸大学 V.School
協賛 : (公社) 化学工学会 SIS部会 ダイナミックプロセス応用分科会